



# 広報

# のびる 10月号

2017年  
第102号

## 祝 野辺地町町制施行120周年記念式典



みんなが使った場所を  
たばこの煙から守ります

子どもの頃から食の  
大切さを伝えます

自分に合った運動習慣  
を取り入れ家庭や地域  
ぐるみで楽しみます

年に1度の健診を受けて  
自分の健康を守ります

睡眠と休養を十分とり、  
心にゆとりをもつて過ごします

笑顔のへじ健康宣言の様子

特集 第21回北前船寄港地フオーラムinのへじ  
町制施行120周年記念式典

# 第21回 北前船寄港地 フォーラム in のへじ



パネルディスカッションの様子

左から) 中谷町長、NPO法人のへじFRASCO 阿部理事長、JR東日本大内盛岡支社長、日本航空 二宮常務、ANA総合研究所 稲岡副社長

## 北前船寄港地フォーラム



北前船寄港地フォーラム  
石川 好 議長

## 北前船寄港地フォーラム



一般社団法人北前船  
交流拡大機構  
岩村 敬 会長



基調講演を行う  
東日本旅客鉄道株式会社  
日野 正夫 常務取締役



祭り日を演奏する野辺地小学校5・6年生の児童の皆さん

地域間連携を強め広域観光を目指す

「第21回北前船寄港地フォーラムinのへじ」を開催

江戸時代から明治期にかけて、大阪と北海道を結び、日本海側の寄港地を拠点として一大経済圏の形成に寄与した「北前船」。「北前船」の全国の寄港地が連携して今に残る魅力を発信し、広域観光のルート形成や寄港地間の相互交流による地域活性化、地方再生を目指す「第21回北前船寄港地フォーラムinのへじ」を9月1日、まかど観光ホテルで開催しました。

「野辺地町の地域活性化とむつ湾広域観光振興について」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、進行役に観光庁の蔵持課長を迎え、中谷町長、NPO法人のへじFRASCOの阿部理事長、JR東日本の大内盛岡支社長、ANA総合研究所の稲岡副社長、日本航空の二宮常務ら5人のパネリストが意見交換を行いました。中谷町長からは「常夜燈周辺のベイフロントエリアを観光拠点として整備し、広域観光振興を図りたい」、阿部理事長からは「のへじ井や町の食材を活用した、食の観光振興を目指したい」などの意見が出されました。また、各交通事業社からはサイクルツーリズムによる、下北半島や十和田湖、八戸への広域観光や、北海道新幹線や青函デイスティネーションの活用などが提言されました。最後に「現代の

北前船とは何か」について、阿部理事長は「この会場にいる皆さんが北前船です。この地域の魅力を皆さんの地元で広めて下さい」と本フォーラムの役割について見解を述べました。

また、当日は野辺地小学校5・6年生の児童による「祭り日」のオープニングに始まり、野辺地沖揚音頭保存会による「沖揚音頭」が披露されるなど、当町の特色を色濃く出した内容となりました。中でも、「沖揚音頭」のなかで行われた「子叩き音頭」には、フォーラム出席者からも参加があり、会場が一体となって盛り上がりました。さらに、中庭のテラスで行われた特産品の振舞いに参加者からは「ホタテやかぶがとともおいしい」「町民の皆さんの協力が素晴らしい」など称賛の声が多く聞かれました。

翌2日には、エクスカーションが行われ、町内を巡るコース、下北コース、青森コースを巡り町内や県内の観光の魅力を参加者へ伝えました。

フォーラムの提唱者で、議長である作家の石川好氏は「野辺地町は重要な寄港地だった」と野辺地での開催意義について話し、「北前船の物語を發展させたい」とあいさつしました。

基調講演では、JR東日本の常務取締役日野正夫氏が青森県

での観光振興についての取組を紹介し「地域との連携によって鉄道利用者を地元の観光地へと誘客を図っていききたい」など今後の展望について講演を行いました。

「現代の



沖揚音頭保存会の皆さんによる沖揚音頭の披露



フォーラム参加者も「子叩き音頭」に挑戦！



基調講演に耳を傾ける参加者の皆さん



中庭テラスでの特産品の振舞いも大好評でした！

